

尾花沢

OBANAZAWA

涼しさを 我が宿にして ねまる也

旅の情を知る清風の行き届いた、厚いもてなしによって涼しくつろぐことをえた感謝の意

芭蕉主従が訪ねた尾花沢の鈴木八右衛門は、紅花上人で知られる風雅な俳人で清風と号し、紅花取引のためにしばしば江戸に通い、芭蕉とは旧知・親交の仲にあったようです。

清風は旅人のもてなしを心得、滞在10日のうち紅花集荷の最盛期と重なり、7日間、改修まもない閑静な養泉寺に宿をとり、長途の旅をねぎらいました。

その後、地元の諸俳士との交流もあり、句会が催され、歌仙が巻かれました。現在でも養泉寺の境内に「涼しさを 我が宿にして ねまる也」の句碑があります。

市内には、「奥の細道」や芭蕉に関わる資料が展示されている「芭蕉清風歴史資料館」があります。



芭蕉清風歴史資料館

紅花大尽ともいわれた鈴木清風、そして俳聖芭蕉との交友を伝えてくれるのがこの資料館。

銀山温泉

銀山川の清流をはさんで、古風な三層、四層の木造旅館が立ち並び、大正時代のノスタルジックな雰囲気が漂う湯治場となっている。



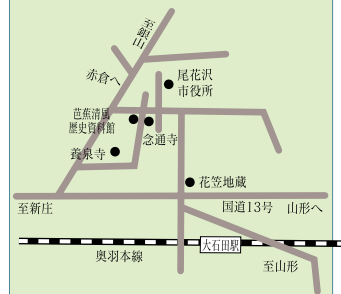
徳良湖

山形県を代表する夏の祭典である花笠踊りの発祥の地。アウトドアやスポーツのメッカとしても知られる。



徳良湖温泉「花笠の湯」

平成16年度に開湯。トルマリン（電気石）の原石を埋め込んだ露天風呂が人気。家族風呂付休憩室もある。



交通／奥羽本線大石田駅よりバス10分

翁塚

OKINAZUKA

眉掃きを 倅にして 紅粉の花

紅花の格好が、ちょうど女性のお化粧道具である眉刷毛によく似た姿という意



芭蕉主従が尾花沢から山寺に向かう途中、立ち寄った念仏寺跡が将棋といで湯の里天童・舞鶴山麓にあり、翁塚の碑が建てられています。

また、天童郊外の石倉には、旧道が残り、芭蕉の※「眉掃きを 倅にして 紅粉の花」の句碑があります。紅花は古来から末摘花とも呼ばれ、数多くの文人墨客から愛されてきました。ちょうどその時期（陽暦7月13日）にはそんな可憐な紅花が畑一面に咲き誇り、芭蕉一行の眼を楽しませたことでしょう。

※「眉掃き」とは、化粧道具で、白粉をつけた後に、眉を掃く小さな刷毛のことです。花の匂に、女性の化粧道具を添えた芭蕉の手腕を感じます。

天童温泉

将棋の駒の里ならではの王将風呂等ユニークなお風呂が楽しめる。新幹線も停車し、交通の便も非常に良い。



翁塚



旧郡役所資料館

明治時代の東村山郡役所で、現在では、明治や大正期の人々の暮らしや文化に関する資料を展示している。

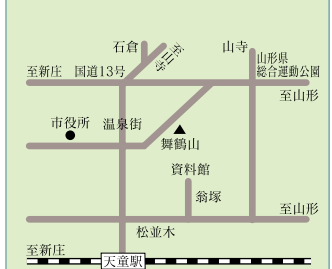


若松寺(若松観音)

最上三十三観音第1札所。708年に、行基が開山したと伝えられている。縁結びの観音様として有名。

将棋駒

古くは江戸時代末期にまで遡る天童の将棋駒。現在、天童市は全国の将棋駒生産量の約95%を占める。その匠たちの伝統の技から生まれる名品を堪能したい。



交通／奥羽本線天童駅よりバス5分

